

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

● スタッフ（平成28年10月1日現在）

診療科長 塚原 清彰
医局長 本橋 玲
病棟医長 稲垣 太郎
外来医長 清水 顕

医師数 常勤 21名
非常勤 19名

● 診療科の特徴

1) 頭頸部外科（主任教授 塚原清彰、臨床准教授 清水顕、講師 岡本伊作）

2016年度は422例の新規頭頸部腫瘍登録がありました。早期癌に対しては従来の放射線治療に加え、ロボット支援手術も行っています。当科は日本でロボット手術に関する先進医療Bを認可された3施設の1つです。進行癌に対する化学放射線療法、機能温存手術、拡大手術・再建についても各種学会、学術誌で報告し高い評価をいただいています。週に1度、放射線診断部・治療部および口腔外科とカンサーボードを開催し、一次治療や治療効果判定、追加治療の有無について検討しています。癌研有明病院、がんセンター東病院、国際医療福祉大学三田病院などと人的交流も行っています。5人の頭頸部外科専門医が在籍しています。

2) 耳科（教授 河野淳、准教授 稲垣太郎）

聴覚・人工内耳センターを中心に難聴診断や中耳炎・人工内耳の手術を行っています。日本で人工内耳手術を始めて行った施設で、これまでに日本最多、800例を超える症例に人工内耳手術を行ってきました。また補聴器診療実績は都内トップの実績を誇ります。

3) 鼻科（准教授 大塚康司）

最新のハイビジョンシステムとナビゲーションシステムを用いた内視鏡手術を行っています。難易度の高い、前頭洞炎に対するDraf手術や上顎洞乳頭腫に対するEndoscopic medial maxillectomyも積極的に行っています。涙嚢炎や鼻涙管閉塞症に対して眼科と協力して内視鏡下鼻腔涙嚢吻合術を行っています。

4) めまい（准教授 稲垣太郎）

赤外線 CCD カメラでの眼振検査や ENG カロリック検査に加え、cVEMP、oVEMP、vHITを行い、病巣診断を行っています。神経内科、高齢診療科とも合同カンファレンスを行っています。どの程度日常的障害があるか、抑うつ状態があるかなどを、Dizziness Handicap Index(DHI) や QIDS-SR といったアンケートで判断し、結果によりメンタルヘルス科に依頼をしています。3人のめまいアクティブメンバーが在籍しています。

5) 音声（講師 本橋玲、兼任教授 渡嘉敷亮二）

音声障害、声帯運動障害の精査のため積極的に3DCT

による診断を行っています。また喉頭麻痺に対する披裂音声障害、声帯運動障害の精査のため積極的に3DCTによる診断を行っています。また喉頭麻痺に対する披裂軟骨内転術、痙攣性発声障害に対する甲状軟骨形成術Ⅱ型、甲状披裂筋切除術、喉頭外傷後喉頭形成など複雑な疾患・手術に対応しています。一方、入院を希望されない方には外来日帰り手術を行っています。当院で考案した屈曲カテラン針を用いた手術にて声帯ポリープ、声帯嚢胞の切除や喉頭麻痺に対しての声帯内注入術等を行っています。

6) 嚥下（兼任助教 船戸宣利）

耳鼻咽喉科医師3名、口腔外科医師2名、摂食・嚥下障害看護認定看護師1名、言語聴覚士2名、管理栄養士1名でNSTチーム医療として行っています。評価には嚥下内視鏡検査、兵頭スコアを用いています。内視鏡での評価が困難な症例については嚥下造影を施行し、適切な食形態、リハビリ方法を選択しています。食形態は嚥下食2（ペースト食）、嚥下食3（きざみ食）、嚥下食4（一口大）、常食に分け、水分はとろみ無し～とろみ1.5%までに分け、複雑な食形態に対応可能です。リハビリは言語聴覚士により食事を使用しない間接訓練から実際に食事を使用する直接訓練まで、段階を踏んで行います。すべてのスタッフが食べることを通して患者さんのQOL改善に努めています。

7) 睡眠時無呼吸（兼任准教授 北村剛一）

小児でも可能な限りポリソムノグラフィーを行い、客観的評価に基づき手術適応を決めています。成人では動的MRI撮影により閉塞部位を特定し、結果により鼻閉改善手術、口蓋扁桃切除術、口蓋垂軟口蓋咽頭形成術、舌扁桃切除術、オトガイ舌筋前方牽引術などを行っています。

■ 専門外来

月曜	PM	難聴外来 嚥下外来 補聴器外来
火曜	PM	めまい外来
水曜	PM	腫瘍外来
木曜	PM	音声外来 アレルギー外来
金曜	PM	中耳炎外来 補聴器外来
土曜	AM	睡眠時無呼吸外来（第1.3.5週） 遺伝難聴外来（第3週）

● 診療体制と実績

入院患者延べ数 15,099 人 (1 日平均 41.3 人)
 入院件数 1,130 人
 外来件数 41,470 人
 初診数 4,872 人
 手術件数 643 件 (手術室)

手術症例数は以下の通りです。

頭頸部			452
再建 (89)	遊離再建 (54)	前腕皮弁	16
		大腿外側皮弁	5
		腹直筋皮弁	14
		遊離空腸	19
	有茎再建 (35)	大胸筋皮弁	25
		DP 皮弁	3
		胃管	7
頸部	頸部郭清術	180	
原発 (再建あり)	喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術 (再建あり)	28	
	食道悪性腫瘍手術 (再建あり)	7	
	上顎骨悪性腫瘍手術 (全摘)	5	
	喉頭悪性腫瘍手術 (中咽頭)	9	
	舌悪性腫瘍手術 (切除・亜全摘)	10	
	広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術(外耳道)	2	
	口腔底悪性腫瘍手術	3	
	耳下腺悪性腫瘍手術 (全摘)	1	
原発 (再建なし)	喉頭悪性腫瘍手術 (全摘)	19	
	耳下腺腫瘍摘出術 (浅葉・深葉・全摘)	23	
	甲状腺悪性腫瘍手術	9	
	顎下腺腫瘍摘出術	4	
	副咽頭間隙腫瘍摘出術 (経頸部)	3	
	喉頭悪性腫瘍手術 (中咽頭・経口腔)	11	
	喉頭悪性腫瘍手術 (ELPS)	27	
	喉頭悪性腫瘍手術 (TORS)	4	
	舌悪性腫瘍手術 (切除)	10	
	その他	8	

耳		226
人工内耳埋込術	73	
鼓室形成術	53	
鼓膜形成術	6	
乳突洞削開術	23	
アブミ骨手術	3	
中耳根本術	1	
鼓膜切開術	10	
鼓膜チューブ挿入術	7	
鼓膜チューブ挿入術 (外来)	45	
顔面神経減圧手術	1	
外耳道形成術	3	
中耳側頭骨腫瘍摘出術	1	

鼻		275
内視鏡下副鼻腔手術 II 型	4	
内視鏡下副鼻腔手術 III 型	57	
内視鏡下副鼻腔手術 IV 型	74	
内視鏡下副鼻腔手術 V 型	6	
(ナビゲーション使用)	10	
鼻中隔矯正術	54	
粘膜下鼻甲介切除術	53	
下鼻甲介切除術	20	
鼻副鼻腔腫瘍摘出術	2	
涙嚢鼻腔吻合術	4	
髄液漏閉鎖術	1	

口腔・咽喉		224
アデノイド切除	46	
口蓋扁桃摘出術 (側)	152	
軟口蓋形成手術	17	
舌扁桃切除術	5	
咽頭異物摘出術	2	
膿瘍切開術	2	

喉頭		67
喉頭形成術	17	
ラリngoマイクロサージェリー	9	
外来手術	41	

その他		86
気管切開術	53	
リンパ節摘出術	14	
リンパ節群郭清術	4	
デブリードマン	2	
深頸部膿瘍切開術	4	
頸瘻・頸部嚢胞摘出	1	
耳瘻管摘出術	4	
唾石摘出術	1	
下咽頭梨状陥凹瘻摘出術	1	
嚥下機能手術	2	